



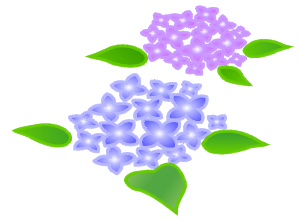
校長室通信



小国町立小国中学校

令和 3. 6. 11 (金) No8

文責 狭間卓史



「想定外を想定する」

6月4日(金)、「小中合同避難訓練」を実施させていただきました。平日の15時00分頃からという時間帯にもかかわらず、ご家庭の皆様方にもご協力いただきましたこと、あらためて感謝申し上げます。

今回の避難訓練は、大きな災害、事件等の発生時を想定し、児童・生徒を各ご家庭に安全・確実に引き渡すことを目的とした訓練でした。コロナ禍の状況ではありましたが、災害や事件等は、いつ何時発生するかわからないからこそ、このような状況では児童・生徒の安全をどのように守るのか、配慮すべきことは何なのか、その課題を見極めるために実施させていただいた次第です。

万が一の危険を回避するためには、様々な「想定外」を想定する取組が必要だと考えます。ここ数年、極端な気象状況による災害が相次いでいます。各ご家庭でも様々な場面を想定したご家族の約束事を確認されておかれてください。その約束事はもちろんのこと、約束事を話し合うこと自体が、お子さんが「想定外」の出来事に対応していく力を高めることにつながるはずです。



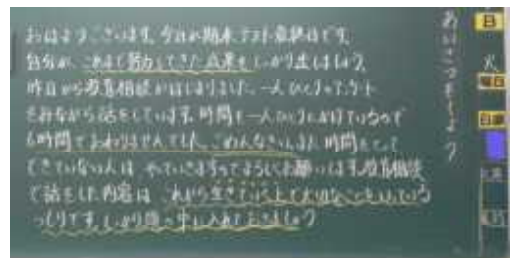
【体育館に地区ごとに整列】



【車の流れもスムーズでした】

「こだわり」

先日、伊佐教頭が不在の日のことです。放課後に校舎内の戸締まりをしていたところ、8年2組の教室の黒板に記されたメッセージが目にとまりました。このメッセージは学級担任の飯塚康浩教諭が、翌朝登校してくる生徒に向けて記してくれたものでした。翌日、このことを伊佐教頭に話すと、「飯塚教諭のメッセージは一年間毎日ですよ」とのこと。伊佐教頭も戸締まりの際に、そのメッセージを読ませてもらっているとのことでした。



【8年2組の黒板メッセージ】

担任としてのこだわりを持ったその取組に嬉しさを感じながら隣の教室に向かうと、ここにもまた生徒に向けたメッセージが。・・・そのメッセージを書いていたのは、これも学級担任の日吉かほる教諭でした。日吉教諭も前任校で取り組んでいた実践をこの小国中学校でも折に触れて取り組んでいるとのこと。それぞれに担任の熱意が伝わってくる取組を目の当たりに出来て、嬉しさを感じる戸締まりとなりました。

各学級担任は、日々悩みながらも、それぞれに学級の生徒と向き合おうとしています。うまくいく時もあれば、残念ながらうまくいかない時もあります。担任として生徒を育てながら、担任として育ててもらう毎日だとも言えます。各学年主任や副担任のサポートのもとに試行錯誤の日々です。これからも生徒はもちろんのこと、保護者の皆様方とコミュニケーションを重ねてこそ毎日ですが、私どもの取り組みでお尋ねになりたいことがありましたらいつでもご連絡を願います。そのお尋ねこそが私どもの取り組みを向上させることにつながるからです。お待ちしております。